

平成 15 年度 事業計画

わが国の経済は、米国経済の減速、円高などによる輸出の鈍化、個人消費の低迷、雇用情勢の厳しさなど依然として景気は厳しく、未だに長引くデフレを脱却していない。加えてイラク戦争終結に伴う戦後復興、新型肺炎 SARS の影響など、先行きの不透明感はさらに強いものになっている。

政府におかれては、先に成立した平成 15 年度予算の早期執行とともに、一日も早い「デフレ脱却」「株価安定」を実現すべく、金融、税制、財政の総合的な景気浮揚策を果敢かつ迅速に実施されるよう強く要望するものである。

さて、当連合会は、当地域が「環日本海交流のゲートウェイ」としての機能を果たすべく、昨年「中期アクションプラン」を策定し、「社会資本の整備促進」および「21 世紀にふさわしいより魅力ある地域づくり」を目指し、全力を挙げて諸事業に取り組んでいるところである。

今日の激動する社会を見据え、諸課題に果敢に取り組み、一日も早く停滞から脱却し、21 世紀の北陸の発展を目指さなければならないと決意し、今年度も、引き続き「中期アクションプラン」に基づき、次の基本方針を樹て、魅力ある北陸地域像の確立と発展への基盤強化を目指し、強力に諸活動を展開する。

< 基本方針 >

社会資本整備の促進

より魅力ある地域づくり

< 重点課題 >

社会資本整備の促進

北陸地域が「環日本海交流のゲートウェイ」としての機能を果たすには、社会資本を早期に整備することが必要不可欠である。社会資本整備の促進のため関係機関と連携し強力な要望活動等を展開する。

1. 北陸新幹線

- ・ 南越までの工事実施計画の一括認可及びフル規格による早期整備
- ・ 南越・敦賀間について早期の工事実施計画の認可申請

2. 高規格幹線道路

- ・ 東海北陸自動車道の 2005 年全線開通
なお、「東海北陸自動車道開通後の北陸の人・物流の影響波及調査」の検討、提言。
- ・ 舞鶴若狭自動車道(近畿自動車道敦賀線)、能越自動車道、中部縦貫自動車道等の早期完成

3. 北陸地域の港湾の利・活用

- ・ 「北陸地域の港湾振興」に係るポート・セールスなどの実施の検討

より魅力ある地域づくり

1. 地域活力の高揚

(1) 北陸STC事業の成果創出

北陸STCサロンの継続開催

- ・ 技術研究支援機関(石川サイエンスパーク等)での施設見学を兼ねた開催
- ・ 分野別、テーマ別開催(繊維、バイオ、環境など)
- ・ 製品、事業PRに絞った発表会の開催
- ・ シーズ・ニーズ・アイデアの発掘の推進

- ・会員及び大学、公設試験場、企業等への訪問活動強化による案件発掘
コーディネートによる支援の推進
- ・目利き委員会等の専門家群による会員への積極的支援
- ・シーズ・ニーズ・アイデアのマッチング支援
産学官意見交換会の実施
「北陸ものづくり創生協議会」との連携

2. 広域連携による共同事業の推進

- (1) 「北陸広域連携懇話会」による共同事業の推進
北陸広域観光の促進
「彩りの北陸浪漫回廊」(仮題)を軸とした観光コースの策定及び全国キャンペーンの展開
「北陸環境共生会議」による循環型社会形成の推進
リサイクル、燃料電池車の普及など環境課題への取組み
- (2) 経済団体、関係機関との懇談会の継続実施

3. 環日本海交流の促進

- (1) 「第4回北陸・韓国経済交流会議」(於:韓国大邱広域市)における、企業プレゼンテーション、商談会の実施
- (2) 「中国との事業展開のあり方」に関する調査研究
- (3) 中国調査ミッションの派遣

< 事業活動 >

1. 委員会活動

北陸地域の発展に向けた諸課題について調査・研究し、適時適切な提言を行なう。

(1) 総合対策委員会

- ・ 自立型社会の構築に向けた「道州制の検討」
- ・ 地域活性化方策として「PFIの推進」につき日本政策投資銀行と共同検討

(2) 広域連携委員会

「北陸広域連携懇話会」による広域連携の推進

(a)北陸広域観光促進のために、北陸三県・北陸広域観光推進協議会等とも共同し、観光客誘致につながる「彩りの北陸浪漫回廊」(仮題)を軸とする広域観光メニューの作成、全国キャンペーンの展開

(b)循環型社会の形成に向けた「北陸環境共生会議」の運営及びリサイクル、燃料電池車の普及など環境課題への取組み

「北東アジア」について共同研究の検討

(北海道・東北・北陸・中国の四経済連合会)

北陸 AJEC を中心に共同して研究を行なう。

(3) 社会基盤整備委員会

「東海北陸自動車道開通後の北陸の人・物流の影響波及調査」の検討、提言

「北陸情報ネットワーク研究会」による産学官連携支援システムの構築に向けた活動

「北陸地域の港湾振興」に係るポート・セールスなどの実施の検討

(4) 産業開発委員会

北陸 STC 事業の推進(北陸産業活性化センターと共同)

「中国との事業展開のあり方」に関する調査・研究

生産拠点としての企業進出に加え、市場開放が進む中国の活用と共生について北陸 AJEC と共同して調査を実施

2 . 調査・研究活動

激動する社会環境のなかで、今後の方向性を見極め、的確に対応するため、次の調査・研究を進める。

- (1) 北陸新幹線に関する P R 活動
- (2) 地方行財政改革の推進
- (3) 海外視察会の実施（中国）

3 . その他の支援・連携活動

- (1) 北陸 AJEC に対する支援・連携強化

「中国との事業展開のあり方」に関する調査研究の共同実施や環日本海経済交流促進に係わる国内外の情報ネットワークの拡大・経済動向等に関する調査研究等への支援を行なう。

- (2) 「北陸イメージアップ推進会議」に対する支援、連携
- (3) 「北陸国際投資交流促進会議」に対する支援、連携
- (4) 「企業誘致連絡会」に対する支援、連携
- (5) 「北陸技術交流・テクノフェア」の福井市等との共催
- (6) ものづくり集積地企業との交流会の継続実施

・ 関西地域(大阪府東大阪市)との交流会の北陸での開催

- (7) 東海北陸道地域整備推進協議会への参画

東海北陸自動車道全線開通を目前にして、東海北陸自動車道の利用促進とその周辺地域の活性化を図るため、P R パンフレットなどを利用し活動を実施する。

- (8) 隣接地域との広域観光の推進

・ 「中部の観光を考える百人委員会」活動への積極的参画
・ 「歴史街道推進協議会（関西）」との連携

4 . 交流・懇談会活動

(1) 会員懇談会の開催

各地域が抱える諸課題について、当連合会の事業計画に反映させるとともに会員相互の意思疎通と親睦を図るため、三県での会員懇談会および新春経済懇談会を継続して開催する。

(2) 関係機関との連携強化

高速交通体系の整備推進、新産業の育成など、各地域に共通する諸課題について、行政当局や他経済連合会などとの連携強化する。

他経済連合会・団体との連携強化

- a . 第 45 回 西日本経済協議会（開催地：福岡市、九州・山口経連幹事）
- b . 第 30 回（社）日本経済団体連合会との経済懇談会（開催地：福井市、北経連幹事）
- c . 第 26 回（社）中部経済連合会との懇談会（開催地：未定、中部経連幹事）
- d . 第 24 回（社）関西経済連合会との懇談会（開催地：未定、関西経連幹事）
- e . 第 8 回 北海道・東北・北陸の三経済連合会による懇談会（開催地：北海道、北海道経連幹事）

行政当局との連携強化

- a . 第 31 回 三県知事との懇談会（開催地：金沢市）
- b . 第 11 回 北陸・近畿両地方整備局との懇談会（開催地：金沢市）
- c . 第 10 回 中部・近畿両経済産業局との懇談会（開催地：福井市）
- d . 第 3 回 北陸総合通信局との懇談会（開催地：富山市）
- e . その他

5 . 政策提言活動

- (1) 北陸地域の発展にかかわる諸課題について、適時適切に国への働きかけを行なうほか、社会資本整備等地域の発展に向けた諸施策について、地方自治体、関係機関との密接な連携・協力のもと提言、要望活動を展開する。
- (2) 委員会の調査・研究報告に基づき，国など関係機関への提言・要望とその実現化

6 . 広報広聴・情報提供活動

- (1) 会報ならびに調査研究による成果報告書の刊行、図書、資料の収集と公開などを行なう。
- (2) ホームページの特性を活かした情報発信（各行事の速報、コメントの掲載など）、会員企業へのリンクの拡大、メールニュース等を実施する。
- (3) 経済懇談会などによる各種セミナーの開催
- (4) アンケート調査などによる経営環境の業況調査、当連合会に対する意見や要望の把握と事業運営への反映を行なう。

7 . 組織基盤強化活動

当連合会が、経済・社会情勢の変革にタイムリーかつ的確に対処するには安定した組織基盤が必要であり、会員との連携を密にするとともに会員の増強を図るなど強固な組織基盤を構築していく。

以上